

12月議会一般質問

Q 質問要旨 & A 答弁要旨

Q1 民主政権に替わり、どのようなお考えで対応されようとしておられるかお伺いします。

次に石灰石稼働鉱山の観光地化についてですが、平成19年度に「宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会」を発足しており、当協議会では、着地型観光を推進するため、平成20年度から産業観光バスツアーを本格的に実施しました。さらに産業観光バスツアーの内容を充実させたため、市内企業のご協力を得ながらバスツアーによる旅行客誘致を積極的に推進して参りたいと考えております。

A 市長答弁

新市発足後、議会、市民の皆様方のご理解、ご協力を得まして、夢と希望と誇りに満ちた交流拠点都市の実現に向けて、大きな変革に種々取り組んでいるところであります。が、今後も政権交代に左右されることのない強固な行政基盤を築き上げるために、第一次美祢市総合計画に基づく政策、施策事業を着実に推進していくという確固たる信念を持つて市政運営に当たつて参りましたことを考えております。

Q1 秋吉台には、貴重な原生林に近い木が残っており、調査されてはどうか。また、石灰石稼働鉱山の観光地化についてお伺いします。

A 市長答弁

近年、エコツーリズム、グリーンツーリズムなどが注目をされており、本市におきましてもエコツーリズムを実施しております。秋吉台地域工コツーリズム協会、関係部局、

Q2 美祢市の観光資源について

中山間地の農村部にとってバイオマスの活用が農村活性化の柱の一つになると考えます。市のバイオマステクノロジ構想の取り組みについてお伺いします。

A 市長答弁

メタンガスによる発電及び食物残渣の肥料化等の活用について、発電利用や原料の収集など、今後調査を行って参りたいと考えております。また、バイオマスエネルギーは活用方法等多種多様であるた

め各関係部署において調査研究が必要でありますので、今後、研修視察などへ職員を参加させて参りたいと考えております。

布施文子議員

Q1 高齢者虐待防止と擁護者

美祢市は高齢化が進んでおり、高齢者を取り巻く問題は大変多く、深刻です。

高齢者の虐待の早期発見と対策について美祢市の状況をお伺いします。また、擁護者の負担軽減に向けた取り組みについてお伺いします。

A 市長答弁

窓口については、高齢障害課及び総合支所の市民福祉課、地域包括支援センターにおいて対応しております。相談があった場合は、訪問、面接等により事実確認後、社会福祉協議会、医療機関等、関係機関との情報の共有化を図ることとしています。高齢者の虐待防止に向けました関係機関相互によるネットワーク

市議会定例会での、一般質問の質問要旨と答弁要旨を紹介します。

また、本会議や各委員会の様子は、市有線テレビ(MYT)で放映しており、各総合支所では録画を見ることが出来ます。議事録も市議会事務局、美祢図書館、各総合支所、市ホームページでご覧になれます。

問合せ先 市議会事務局 (☎0837-51117)



1 民主政権に替わり、美祢市はどのようにかわるのか

形成が早期防止につながると考えており、地域でのネットワーク体制を整えるための啓発に努めて参りたいと考えております。

また、擁護者の支援に関する取り組みとして、家族介護教室や認知症講座を継続して開催して参りたいと考えております。

2 ファミリーサポートセンター開設後の状況と課題について

Q1 開設されて2ヶ月が経過しておりますが、現在の会員数、依頼内容、今後の見通しについてお伺いします。

A 市長答弁

11月末現在、105名の方に会員登録をしていただいており、援助件数は2件であります。今後、制度の周知につきまして、市報、MYT、地域の有線放送等広報活動を実施して参りたいと考えております。

次に今後の見通しについてですが、国は、ファミリーサポートセンター事業について「育児支援」と「介護支援」を示しており、本市においては、子育てをしやすい美祢市を目指す施策として育児支援に着手しております。また、

高齢者支援への拡大につきましては、既存の在宅介護サークルなど老人福祉法に基づくもの、また介護保険法等の諸施策での対応が適切であろうと考えております。

南口彰夫議員



2 美祢市カルストクリーンセンターの管理運営の状況と施設管理の業務委託について

Q1 カルストクリーンセンターの管理、運営、処理についてお伺いします。

A 市長答弁

RDF製造ラインの主要装置である破碎機、主反応機、ごみクレーン等の点検、部品の交換及び総合的な点検等の業務を委託しています。その

Q1 現在、ごみ袋を買っていただくという形で無料ではありません。今後、施設の管理運営を見直すことによって無料化ができるかどうかお伺いします。

A 市長答弁

収集体制は、現在、合併以

前の3地域で異なった収集体制で実施しており、平成20年度におけるカルストクリーンセンター管理運営費、ごみ収集業務、ごみ袋作成業務等にかかる年間関係費総額は、約3億2,000万円です。施設の適切な維持管理について業務の見直し等の努力をしております。

いるといひますが、施設の維持管理につきましては、相当の経費がかかり、ごみの減量化の推進の観点からもごみ袋の無料化については難しいと考えます。

三好睦子議員



1 国民健康保険税の引き下げについて

Q1 市民の負担の中で大きな比重を占めているのが国民健康保険税を考えます。国民健康保険税を引き下げて元すべきと考えますがいかがでしょうかお伺いします。

A 市長答弁

Q1 国民健康保険税の改定につきましては、今後の被保険者や医療給付費の動向を見極めることが非常に重要であると考えております。必要なときには安心をして医療を受けられるよう、長期的な試算を行いまして支出額を適正に見込むとともに、それに見合つ保険税の収入を確保し、国保事業が安定的に運営できるよう今後も実行して参る所存であります。

2 住宅リフォーム助成制度の創設について

Q1 この制度は、市民が住宅リフォームを市内業者で行った場合、その経費の一

部を自治体が助成する制度です。住宅に関連する仕事は様々であり、業者への仕事興しにも期待ができると考えます。この事業に取り組んでいただきたいと考えますがいかがでしようかお伺いします。

この事業は、住宅をリフォームされた市民、また工事を受注した事業者にとって喜ばしい制度であると考えます。しかし、事業の透明性、税金を個人住宅のリフォームに使うため、その公平性に用いること、予算措置等の問題点から今後、調整、検討したことと考えております。

山中佳子議員



1 新年度における地域支援策について

Q1 自立促進と自立支援を考慮した補助金の見直しは、ぜひ必要だと思われますが、従来の枠にこだわるこ

となく、地域の活性化に寄与する団体には、積極的に